

## 次代につなぐ担い手育成に向けて ～キュウリ若手生産者勉強会 全6回開催終了～（球磨）

球磨地域では、近年、新規就農者の定着が課題となっており、産地の維持・発展のためには、新規就農者および若手生産者を中心に経営や栽培に関する基礎知識や技術力の習得および向上が必要となっています。

また、球磨地域の主力品目で、県内一の産地である夏秋キュウリにおいても、若手生産者が13%※と少ないことや個々の技術力の差による反収の違いが課題となっています。

そこで、JAくま胡瓜部会の若手および新規生産者を対象として、8月から3月までに合計6回の勉強会を開催しました。

勉強会では、球磨農業普及・振興課が高温対策や土壌病害対策、経営分析等に関する講義を行い、農業革新支援センターからも病害虫対策や生育診断に関する講義を行いました。勉強会には、毎回約10名の出席があり、基本技術の習得に加え、キュウリの栽培経験や市町村を超えた交流を深めることができました。生産者からは、技術を向上させ産地維持に役立てたいという声や、JAからもこのような機会は今まで無く、大変良かったとの声がありました。

3月にはこれまでの勉強会で学んだ事を踏まえ、令和4年産の課題整理と次年産に向けた目標設定を行うための座談会を開催しました。

今後も引き続き、地域の担い手確保に向けた支援を行っていきます。

※JAくま胡瓜部会における30代までの生産者の割合



現地検討



室内検討（土壌病害）



室内検討（経営）